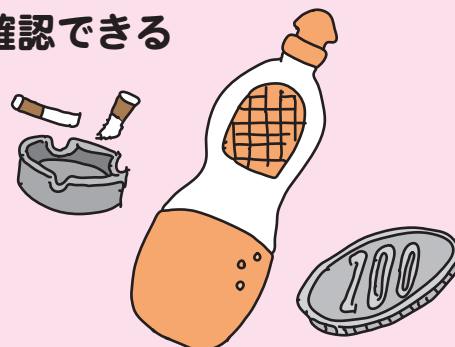


誤飲・誤食

まずは、何をどのくらい飲んだか確認する。
受診時には、誤飲・誤食したものの成分が確認できる
説明書や箱、ビンなどを必ず持参
しましょう。



次の症状を観察

- 意識がない
- けいれんが止まらない
- 吐き気・おう吐がある
- 呼吸がおかしい
- 塩酸・苛性ソーダ・除草剤・
パラコート・有機リン系・殺虫剤・
トイレ洗浄剤・業務用漂白剤
の誤飲

ひとつでもあてはまる

救急車を呼ぶ!

(P3参照)

- 意識があるが、顔色が悪い
- けいれんを起こした
- 飲み込んだ直後に激しくせきこ
んだ

ひとつでもあてはまる

すぐに受診!

(P1参照)

- 意識がある
- 活気がある
- 吐き気・おう吐がなく、食欲がある

すべてあてはまる

おうちで様子
を見ましょう

症状が改善しない、
悪化するようなら、すぐに受診

救急医療

救急車

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

誤飲・誤食

けが

やけど

熱中症

くすり

座薬

口・歯

災害時

吐かせてはいけない場合

- 6か月未満の乳児
- 意識障害、けいれんがあるとき
- 重症の心臓病、不整脈があるとき

上記以外で、誤飲した場合の応急処置

● 品名

● 応急手当

除光液・灯油・ガソリン
ベンジン等の揮発性物質

何も飲ませない

吐いたものが、気管に入り、
肺炎等を起こすので吐かせ
ない。

吐かせない
至急病院へ

トイレ用洗剤・漂白剤等
の強酸・強アルカリ

牛乳・卵白を
飲ませる

無理に吐かせると食道等の
粘膜を傷めるので吐かせな
い。

吐かせない
病院へ

金属・ボタン電池

何も飲ませない

医師に相談し、便の中に出てくるのを
待つ。電池は成分が胃の中で溶けるこ
とがあるので、すぐ医師に相談する。

吐かせる
病院へ

タバコ

何も飲ませない

のどの奥を刺激して、すぐに
吐かせる。

大部分の医薬品

水や牛乳を
飲ませる

のどの奥を刺激して、すぐに
吐かせる。

パラジクロル・ベンゼン
ナフタリン・防虫剤等

水を飲ませる

防虫剤等は油に溶けやすく、
毒物の吸収を早めるので、
牛乳は飲ませない。

少量の誤飲ではほとんど無害なもの(1g・1ml未満)

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|----------|
| ● 食用油 | ● 絵の具 | ● クリーム | ● シリカゲル |
| ● 酒 | ● えんぴつ | ● 化粧水 | ● 線香 |
| ● 冷蔵庫用脱臭剤 | ● 消しゴム | ● 香水 | ● 蚊取マット |
| ● 保冷剤 | ● 墨汁 | ● ベビーオイル | ● 花火 |
| ● マッチの先端 | ● 粘土 | ● 乳液 | ● 靴墨 |
| ● ろうそく | ● 糊 | ● ベビーパウダー | ● 体温計の水銀 |
| ● インク | ● 石けん | ● 歯磨き粉 | |
| ● クレヨン | ● おしろい | ● シャンプー | |
| ● 炭 | ● 口紅 | ● ヘアトニック | |

★上記の場合でも身体に変化が見られる場合は受診しましょう。

異物の吐かせ方

☆異物が口の中に見えるときは、人差し指をほおの内側に沿って差し入れ、詰まっているものをかきだす。あわててのどの奥へ押し込まないように注意。

■乳児(1歳頃まで)の場合の処置

- ①うつぶせにした体を片腕にのせ、指であごを支える。
- ②太ももに腕をのせ、頭をさげる。
- ③背中の中を手のひらの付け根でたたく。頭をたたかないように指を曲げる。



■小児(1歳頃から8歳まで)の場合の処置

☆腹部突き上げ法(ハイムリック法)

※乳児には禁止

- ①子どもの背後から腕をまわし、片方の手で握りこぶしをつくり、みぞおちの少し下に当てる。
- ②他方の手で握りこぶしを握り、すばやく手前上方へ向かって圧迫するように突き上げる。



☆背部叩打法

太ももで体を支える、または抱き抱えて、頭を低くして、背中をたたく。



対応に困ったときの相談窓口

日本中毒情報センター(中毒110番)…一般専用電話【情報提供料無料】

大阪…☎(072) 727-2499

365日 24時間対応

つくば…☎(029) 852-9999

365日 24時間対応

たばこ誤飲事故専用電話【情報提供料無料:自動音声応答による情報提供】

☎(072) 726-9922

365日 24時間対応

救急医療

救急車

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

誤飲・誤食

けが

やけど

熱中症

くすり

座薬

口・歯

災害時

頭を打った時

次の症状を観察

- 意識がない
- 打った部分がへこんでいる
- 出血が止まらない
- けいれんがある
- 何回も吐く

ひとつでもあてはまる

救急車を呼ぶ!

(P3参照)

- 顔色が悪く、吐いたり吐き気がある
- 打った部分が、ブヨブヨ腫れてきた
- 目の動き(目つき)に異常がある
- 耳や鼻から出血がある
- すぐに泣かずに、泣くまで数十秒かかった

ひとつでもあてはまる

すぐに受診!

(P1参照)

ひとつもあてはまらない

おうちで様子を見て
通常の診療時間内に受診

症状が改善しない、
悪化するようなら、すぐに受診



家庭での対応と注意点

- ☆出血した場合は、乾いたタオルで強く圧迫する。
- ☆体をゆすったり、たたいたりしない。
- ☆すぐに泣いて、他の症状がない時でも数時間は安静にする。
- ☆吐き気の有無、ひとみの大きさ、目や手足の動きに注意する。



鼻血が出た時

赤ちゃんやこどもは、よく鼻血を出します。
鼻に指を入れたりして、粘膜が傷ついて出血するのが原因です。
ほとんどがすぐに止まりますので、心配はいりません。

家庭での対応と注意点

- ☆眉間を冷やす。
- ☆鼻翼(小鼻の少し上あたり)を圧迫する。
- ☆鼻血を飲み込まないように、頭を高くして、軽くおじぎをするような格好をとらせる。
- ☆止まりにくいときは、ガーゼをつめる。
- ☆止血しても、すぐに鼻をかまない。



やけど

流水や氷で冷やしながら、やけどの範囲、状態をよく観察しましょう。

やけどの**重症度判断はとても難しい**ので、判断がつかない場合は病院を受診してください。



次の症状を観察

- やけどの程度が軽くみえるが、広範囲のやけど
(こどもの手のひらより広い)
- 範囲は狭いが、やけどの部分が白、もしくは黒くなっている

ひとつでもあてはまる

救急車を呼ぶ!

(P3参照)

- 水ぶくれができ、痛みが強い
- 顔面・関節部分・手のひらのやけど

ひとつでもあてはまる

すぐに受診!

(P1参照)

- やけどの範囲がこどもの手のひらより狭い
- 水ぶくれがない
- 痛みが強い

すべてあてはまる

おうちで様子を見ましょう

症状が改善しない、悪化するようなら、すぐに受診

救急医療

救急車

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

誤飲・誤食

けが

やけど

熱中症

くすり

座薬

口・歯

災害時

広範囲の場合

- 衣服を着ていた場合は、脱がせずに衣服の上から冷やす。
- 流水、濡れタオル、氷などで冷やす。

広範囲に冷やしすぎると、低体温を引き起こすこともあります。そのような場合は、上から毛布などでくるみ、救急車を待ちましょう。



家庭での対応と注意点

しっかり冷やす

- ☆流水、濡れタオル、氷などで30分以上冷やす。
(市販の冷却シートは使用不可)
- ☆患部に直接勢いよく水をあてると水ぶくれがやぶれたり、長時間冷やしにくい。洗面器に受けるなどして水の勢いを弱めて冷やす。



民間療法はしない

- ☆アロエを貼る、アンモニア(おしっこ)をかける、油をぬる等はしない。

小さい水ぶくれや触ると痛いとき

- ☆滅菌済みガーゼをあて、包帯で覆う。水ぶくれをやぶらないように注意する。

使い捨てカイロやぬるい湯たんぽ使用時の注意点

- ☆長時間同じ場所にあてていると低温やけどになることがあるので、十分注意して使用する。

熱中症

こんな環境に要注意

気温や湿度が高い場所では、体温調節の働きが悪くなり、熱中症を起こしやすくなります。特に、梅雨明けの時期、急に気温が上がり湿度が高い日、アスファルトやコンクリートの上、また風通しの悪い室内や車内では注意しましょう。

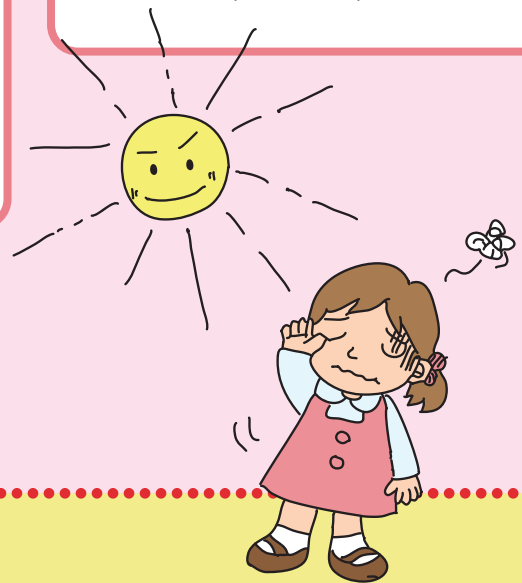
次の症状を観察

- 意識がない
- 脈がない、もしくはふれにくい
- 言動がおかしい、応答がにぶい
- 呼吸を苦しそうにしている
- けいれんを起こしている
- 高体温(体温が40℃以上)がみられ汗をかいていない
- 吐き気・おう吐があり、水分をとれない

ひとつでもあてはまる

救急車を呼ぶ!

(P3参照)



救急車が到着するまで

- 風通しのよい日陰へ移動し、からだを冷やす。
風通しのよい日陰に移動させ、足を高くして寝かせる。
(手足を末梢から中枢へマッサージするのも効果的)
着衣をゆるめて、水をかけ、風をおくる。
アイスノンなどで、首・脇のした・ふともものつけ根を冷やす。

反応がない場合は心肺蘇生法を救急車がくるまでくり返す (P4参照)

意識がある場合、次の症状を観察

- 顔が蒼白い
- めまいがする
- 筋肉痛や、手足・お腹・ふくらはぎがつって痛がり、けいれんする
- 頭痛・吐き気・おう吐があるが水分は自力でとれる

ひとつでもあてはまる

涼しい所へ移動して
水分を補給する

症状が改善しない、
悪化するようなら、すぐに受診
(P1参照)

- 0.2%食塩水(1Lの水に2gの塩を入れたもの)または、スポーツドリンクなどを、少量ずつこまめに飲ませる。



★保護者の方へ★

- 毎年、炎天下の車中でこどもが熱中症で死亡するニュースが耳にされます。さほど暑く感じない日でも、車中は高温になることがあります。乳幼児はまだ体温調節機能が未熟であり、急激な温度変化にからだが対応しきれず、脱水症状を起こしやすいため、短時間で症状が重症化しやすいのです。

いかなるときも、車中にお子さんだけを残して
行かないようにしてください。

救急医療

救急車

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

誤飲・誤食

けが

やけど

熱中症

くすり

座薬

口・歯

災害時